

保育計画成果報告書

法人名等	株式会社 Lateral Kids
施設名	もりのなかま保育園札幌山鼻園
報告者（役職）	鈴木節子（本部スーパーバイザー）
住所・連絡先	〒064-0915 北海道札幌市中央区南15条西11丁目2-38
	TEL 011-205-0602

○タイトル（保育計画）

砂場で育つ感性と社会性
小鳥や昆虫・植物の観察ができるふれあいミニ庭園

○主な備品

砂場、人工芝、ブドウの苗木

1. 保育計画策定の目的

本園は2016年開園の小規模保育園で、戸外活動を重視した保育園です。近くには公園もありますが、公道を横断しないと公園にたどり着くことが出来ない環境にあります。

昨今、公園の砂場は土壌汚染やペットの糞尿被害が社会現象となっています。そのため、これまで子ども達にダイナミックな砂遊びを楽しませることが出来ませんでした。移動にも時間をかけずに、園の敷地内で砂遊びをダイナミックに楽しませたい。こうしたことから、衛生的な砂場を作ることで、子ども達に思う存分砂遊びを楽しませることが出来るのではないかという思いがありました。

子ども達は砂場遊びを通し、沢山の事を学びます。泥団子を作ったり、手足で砂の感触を味わったり。そして、砂場遊びの中で他児との関わりから、集団での遊びのルールを体得していきます。いつでも砂場遊びができる環境は子ども達の成長に欠かせないものでもあります。

また、本園には、園舎横に横長の空間があり、その場所にプランターを置き、野菜や草花を植え、子ども達が育てています。その場所に芝生があれば、裸足で砂場遊びや水遊びができ、さらに、ここにバードテーブルを置けばスズメの鳴き声を聞きながら様々な活動に広がっていくことができます。短い北国の夏を五感いっぱい体験や経験できるミニ広場を作ることで、子ども達の心豊かな成長と生きる力を育てていきたいという目的がありました。

2. 具体的な実施内容

短い北国の夏を砂遊びや草花や野菜を育てることで、五感を使って自然に触れる活動を行ってきました。様々な遊びや活動を通し、子ども達の笑顔と語彙が増えてきました。

☆芝生の上でシャボン玉遊びをしました☆



☆砂場が出来ました☆



☆ブドウの苗木が大きくなりました☆



3. その成果と評価

砂場が出来たことで、砂や泥んこで遊ぶ機会が増えてきました。

これまで、砂や泥に触れられない子どもがいましたが、今では自ら足をダイナミックに泥の中に入れ、砂や泥の感触を楽しむことが出来るようになりました。子ども一人ひとりの五感が刺激され、遊びが日々大胆になってきました。

また、砂遊びを楽しむ時間も日々長くなり、子ども同士の関係も深まり、言語の発達も著しくなってきました。どんどん子ども達が満足できる活動を展開できるようになってきました。

4. 今後の課題と展望

砂場が出来たことで、活動の幅が広がりました。小さな砂場スペースではありますが、砂遊びや泥んこ遊びを通して、子ども達の感性と社会性を育み、また、手先や指先を使い五感を刺激して、一人ひとりの子ども達の発達を促していきたいと思います。

その他にもボードテーブルに来るスズメ等の鳴き声を聞きながら、砂遊びや芝生の上での活動等をより充実させ、子ども一人ひとりが豊かな経験を積み重ねていけるようにしたいと思います。

子ども達が生き生きと生きることが出来るように育てていきたいと思います。

以上